

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	実習
科 目 名	在宅看護論実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	通年	教室名	実習施設
担当教員	戸板 宏一郎	実務経験と その関連資格	看護師として医療機関での臨床経験と看護基礎教育の経験を有する			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>継続事例や同行訪問を通して、在宅で療養している対象とその家族を統合的に理解し、健康状態が生活に及ぼす影響や社会資源の必要性について理解を深める。又、多職種・多機関と連携するなかで看護師の役割を理解し、今後の看護に活かすことができる。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>訪問看護ステーションの実習は80%、その事業所は20%とする。評価方法は、ルーブリック評価表による能力評価を用いる。【意欲・関心・態度】①事前学習を行い、知識・技術・態度などの不足を補う。また、リフレクションや追加学習をし、主体的に学習を進めようとしている。②生活の場に訪問する意味を考え、療養者に配慮した行動や言葉遣いができる。【思考・判断】①得た情報をもとにアセスメントし、看護上の問題と方向について考えることができる。②在宅療養者の状況と生活を支える社会資源が整理できる。【技術・表現】①在宅における看護技術の方法を知り、その一部を実施できる。②在宅療養の継続に必要な情報が収集できる。【知識・理解】①在宅療養者の生活を支援するための社会資源が理解できる。②保健医療福祉チームの一員として看護の役割、多職種との連携の重要性を理解できる。③地域包括支援センター、地域連携室、居宅介護支援事業所の機能と役割、業務内容が理解できる。④小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護の機能と役割、業務内容が理解できる。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>在宅看護論(医学書院)他</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>実習オリエンテーションを事前に行う ①実習ガイド説明 ②実習要項・目標達成シート ③実習方法 ④実習マナー ⑤カンファレンス ⑥実習に必要な物品 等</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>健康管理に留意し、実習に臨むこと。訪問時の身だしなみやマナー、時間管理、個人情報の取り扱いについて十分留意する。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	訪問看護ステーションの対象者・業務内容・働く職種、書類等について理解する	所持している教科書・参考書	事前に実習要項を読み、ビジョンコールを作成する。 在宅看護に関する事前学習を行う。 日々の実習記録、自己学習ノートの提出	
		各コマにおける授業予定	訪問看護ステーション等のオリエンテーションを受け、訪問看護に同行する			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	同行訪問や継続事例の訪問を通して、訪問看護の方法や療養環境、社会資源を理解する	所持している教科書・参考書	日々の実習記録、自己学習ノートの提出	
		各コマにおける授業予定	訪問看護師に同行し、在宅等で療養する対象者への看護活動を見学する			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	同行訪問や継続事例の訪問を通して、訪問看護の方法や療養環境、社会資源を理解する	所持している教科書・参考書	日々の実習記録、自己学習ノートの提出 継続事例の全体像を作成し、助言を受ける	
		各コマにおける授業予定	訪問看護師に同行し、在宅等で療養する対象者への看護活動を見学する			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	在宅療養者の状況と生活を支える社会資源が整理できる	所持している教科書・参考書	日々の実習記録、自己学習ノート、全体像の提出	
		各コマにおける授業予定	療養者の全体像を作成し、カンファレンスを通して在宅療養者の長期目標や支援のあり方を考える			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	在宅における看護技術の方法を知り、指導者のもとで援助が実施できる	所持している教科書・参考書	日々の実習記録、自己学習ノートの提出	
		各コマにおける授業予定	訪問看護師に同行し、可能な範囲で指導のもとで援助を実施する。療養者・その家族とコミュニケーションがとれる			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	在宅療養の継続に必要な情報が収集し、訪問看護の機能と役割、看護活動への理解を深める	所持している教科書・参考書	日々実習記録、自己学習ノートの提出
	各コマにおける授業予定	療養者とその家族から生活状況や在宅療養への思いを聴くことができる			
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	多職種・多機関との連携や調整を理解する。	所持している教科書・参考書	日々の実習記録、自己学習ノートの提出
	各コマにおける授業予定	退院時カンファレンスやサービス担当者会議等への参加、医療職者・介護職者との同行訪問を見学する。			
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習で得られた学びを共有する	所持している教科書・参考書	日々の実習記録、自己学習ノート、継続事例の情報とアセスメント用紙、評価表及び学びを提出。
	各コマにおける授業予定	実習で学んだこと、ビジョンコールに対する成果や評価を行い、学びを共有する			
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	小規模多機能型居宅介護・認知症対応型共同生活介護の機能や業務内容が理解できる	所持している教科書・参考書	日々の実習記録の提出
	各コマにおける授業予定	対象者や働く職種、業務内容について、説明や見学を受ける			
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	小規模多機能型居宅介護・認知症対応型共同生活介護の役割が理解できる	所持している教科書・参考書	日々の実習記録の提出
	各コマにおける授業予定	療養者とのコミュニケーションや援助、職員の対象者へのかかわりを見学する			
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域包括支援センター・地域連携室・居宅介護支援事業所の機能と役割、業務内容が理解できる	所持している教科書・参考書	日々の実習記録の提出
	各コマにおける授業予定	各事業所で働く職者、対象者、業務内容等について、説明や見学する			
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域包括支援センター・地域連携室・居宅介護支援事業所の機能と役割、業務内容が理解できる	所持している教科書・参考書	日々の実習記録の提出
	各コマにおける授業予定	各事業所の事業に参加・同行訪問し、対象者の反応や職員の間わりを見学する			